

『SecureCore』製品概要

～情報漏洩防止対策ソリューション～

飛天ジャパン株式会社



はじめに

1. SecureCoreとは

- ・1-1. SecureCoreの基本機能
- ・1-2. USBトークンの役割
- ・1-3. 機能概要

2. 導入イメージ

3. 特徴

4. 実績

5. 定価

参考資料

- ・A-1. 他社比較
- ・A-2. 製品仕様(SecureCore Standard Edition)
- ・A-3. 製品仕様(SecureCore Personal Edition)
- ・A-4. 導入事例

会社概要

現在主流のID/パスワードだけの認証では**守りきれない脅威**(ID/パスワードの不正流出などによるなりすまし)があります。

現状

- 企業が主に行っている対策
 - ユーザIDの管理
 - 使用者以外からのアクセス制限
 - 定期的なパスワード変更

ご提案

- Windowsへのログオンは、ID/パスワードだけの認証に加え、**二番目の認証**を付加し、セキュリティの強化を実現します



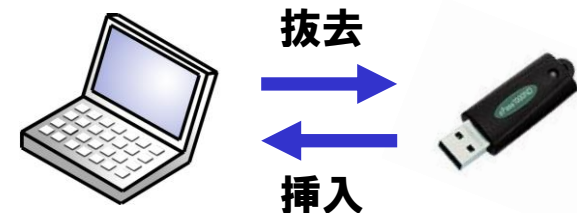
SecureCoreは、USBトークンを利用することで二要素認証を実現します。

1. SecureCoreとは

USBトークンで、Windowsのログオン制御(PCロック)、シングルサインオン、暗号化を実現する総合セキュリティソフトウェアです。

①Windowsログオン制御

USBトークンを物理的な「鍵」としてPCへ挿入し**Windowsへログオン**します。**USBトークンを挿入しないとログオンできず**、また、利用中にUSBトークンを抜くと自動的にPCロックがかかり、不正使用を防止します。



②シングルサインオン(オプション)

様々なWebサイトへの**ユーザID、パスワードをUSBトークンに格納**し、認証時に自動的に送出することによりシングルサインオンを可能にします。

③暗号化(オプション)

USBトークンを『鍵』として、セキュリティボックスフォルダにファイルを**ドラッグ&ドロップ**することで**ファイルを暗号化**できます。(※Windows Vista以降はサポートしていません)

1-1. SecureCoreの基本機能

SecureCoreの基本機能(ID/パスワード+USBトークン)である**二要素認証方式**で情報漏洩防止を実現するとともに、使いやすい管理者機能を提供します。

①Windowsセキュアログオン



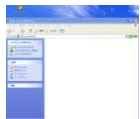
- USBトークンの抜き差しによるWindowsのログオン制御
- 電子証明書/認証情報の格納

②シングルサインオン(オプション)



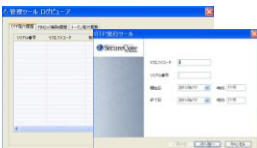
- なりすまし
- ID/パスワード漏洩
- 煩雑なID管理

③暗号化(オプション)



- PCの紛失・盗難
- ファイルの盗難
- データ送信時のセキュリティ

④管理者機能



- IT管理者にとって操作性の良いGUIインターフェースです
 - 連続トークン登録ツール、ワンタイムパスワード発行ツール
 - ポリシー設定ツール、PINコード設定解除ツール

1-2. USBトークンの役割

USBトークン(ePass1000ND)は、物理的な「鍵」としてPCへ挿入しWindowsへログオンすることを可能とします。

ePass1000ND

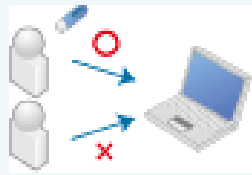
- **USBトークン**のユーザー識別で、固定パスワードより強固な**二要素認証**を実現
- 電子証明書や認証情報をセキュアに格納させることで、様々な**PKIソリューション**と連携することが可能



1-3. 機能概要（主要機能）

SecureCoreはWindowsセキュアログオン/PCロック、シングルサインオン、ファイル/フォルダ暗号化などを含め主に3つの機能をもっています。

Windowsセキュアログオン/PCロック



USBトークンを物理的な「鍵」としてPCへ挿入しWindowsへログオンします。USBトークンを挿入しないとログオンできません。また、利用中にUSBトークンを抜くと自動的にPCロックがかかり、不正使用を防止します。また、マルチユーザー・Windowsドメイン環境もサポートしています。

シングルサインオン



様々なWebサイト・アプリケーションのユーザID・パスワードをUSBトークン内に格納し、認証時に自動的に送送することができます。設定により、ユーザID・パスワードの送送からログインまで全てを自動で行うか、ID・パスワードの送送のみまでのみとし、ログインはユーザ自身が行うかなど、細かく設定変更できます。また、同一Webサイトに対してユーザIDが複数ある場合にも対応しています。

ファイル/フォルダ暗号化



ファイルまたはフォルダを暗号化することができます。操作は直感的で通常のフォルダを使用するのと同様に利用でき、暗号化したファイルを利用する際も該当ファイルをダブルクリックするだけでよく、別途デスクトップ上などにコピーする必要がありません。正規のUSBトークンを持たない限り、フォルダ内のファイルを正常に参照する事が出来ない為、情報漏えいを未然に防ぎます。

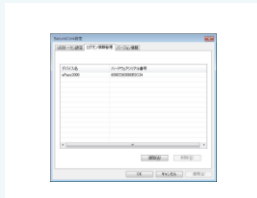
1-3. 機能概要（その他機能）

電子証明書の格納



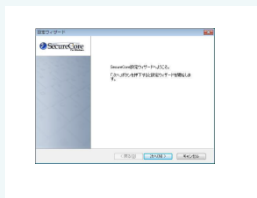
電子証明書や認証情報をセキュアに格納させることができ、PKCS#11、MS CAPIなどの標準PKI規格に準拠した様々なVPNソリューション、IEEE 802.1x無線認証、S/MIME、SSLなどのPKI標準規格アプリケーションとすぐに連携できます。
 また、一つのUSBトークンで複数のPKIアプリケーションの兼用も可能です。

ログ機能



Windows ログオン、シングルサインオンなどのUSBトークン利用状況をロギングする事ができます。収集したデータは解析などに利用でき、不正利用を防止する事ができます。

サイレントインストール機能



管理者による大量PCへのSecureCoreの一括インストールを実現するために、SecureCoreのサイレントインストール方式をご利用できます。サイレントインストールでは事前に設定ファイルを用意する事で、クライアントソフトインストール時に設定やトークンの挿し抜きなどの対話式の操作がなく自動で行う事ができます。SecureCoreクライアントソフトがインストール済みのPCを使用者に届いた後に、使用者によるUSBトークンの登録を行うようにする事もできます。

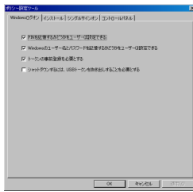
1-3. 機能概要(管理ツール機能)

ワンタイムパスワード発行機能



USBトークンを紛失した際などクライアント側はPCをログインできない場合、管理者がワンタイムパスワードを発行する事でPCロックを強制解除できます。
 また、ワンタイムパスワードの有効期間を設定することもできます。

ポリシー設定機能



管理者はポリシー設定ツールを利用して、自社の運用方針に基いたSecureCoreの利用方法や制限事項を事前設定し、iniファイルの形でクライアントPCに配布し適用させることができます。

トークン発行ツール



USBトークンの初期化作業を行って、離職された方や不要になったUSBトークンを納品時の状態に戻す事が出来ます。

2. 導入イメージ

SecureCoreを導入する事により、なりすましID/パスワード漏洩などの懸念事項を解決できます。

OS起動時/USBトークン未接続時の画面



USBトークン接続時の画面



PIN(暗証番号)の入力画面が表示されます。

認証デバイス (USBトークン) がなければ、ログオンできない

3. 特徴

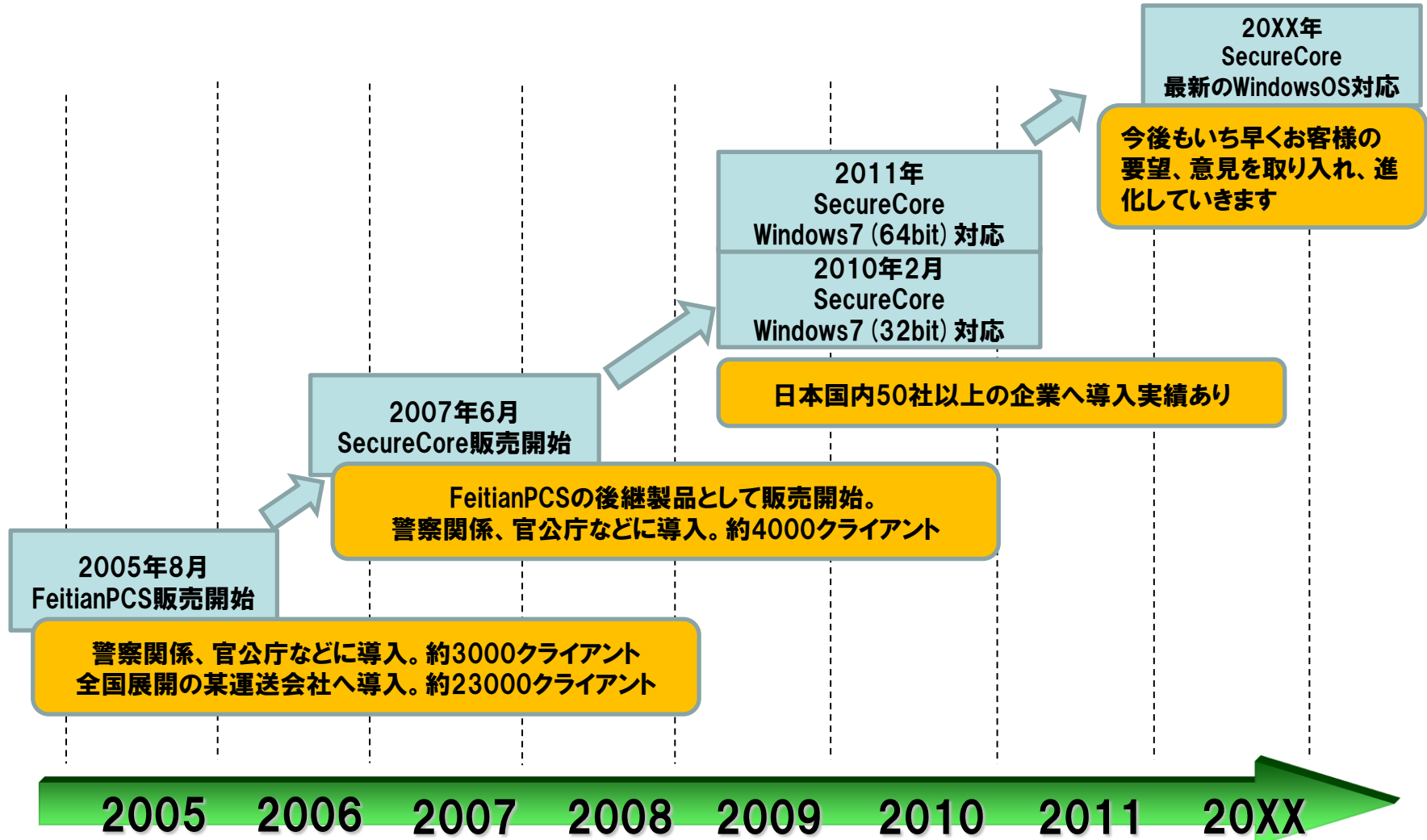
SecureCoreの中から**必要な機能のみ購入**することにより、**低コスト**での導入を実現します。また、機能はあとから追加購入する事も可能です。

・ 特徴

1. USBトークンを使用し、2要素認証で**Windowsセキュアログオン**
2. **シングルサインオン機能**でWebアクセスを容易に実現
3. ドラッグ&ドロップで**ファイル/フォルダ暗号化**
4. PKI規格アプリケーションとの連携
5. 不要な機能は購入する必要がなく**低価格導入**
6. ポリシー設定/ログ機能等で**企業ポリシーへの対応**

4. 実績

2005年の販売開始から官公庁、保安関係、文教関係、製造業など多数導入されており、常に最新のWindowsOSに対応しています。



5. 定価

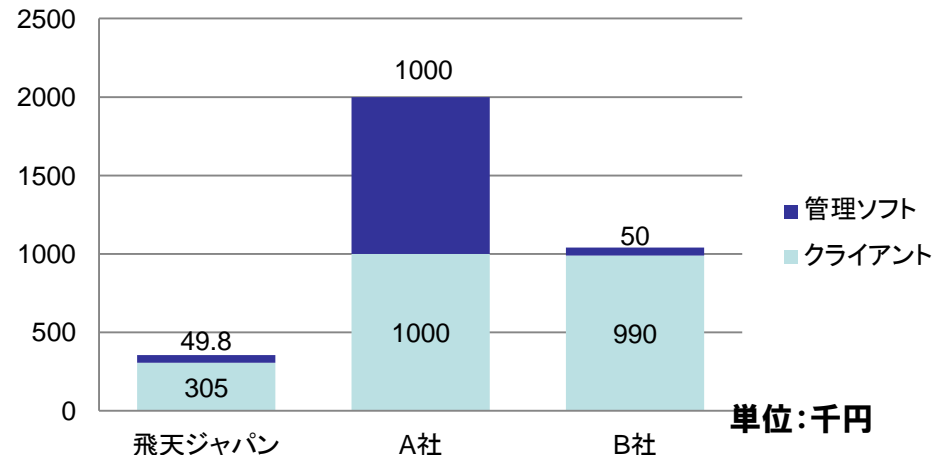
お見積りに関しては、小ロットも含め柔軟に対応させていただきます。

10ライセンスの概算

必要製品群	製品名	数量	定価金額(税抜)
SecureCoreクライアントライセンス	SecureCore PCロック	10クライアント	30,000円
SecureCore管理者ソフト(初回のみ購入)	SecureCore AT	1セット	49,800円
USBトークン(ドライバレス)	ePass1000ND USBトークン	10個	31,000円
ソフトウェア年間保守料(ソフトウェアライセンスの15%) $79,800円 \times 0.15$			11,970円
合計			122,770円

※納期は5営業日以内で発注可能 ※価格は導入条件やロット数などで変わってきますので詳細はお問い合わせください

50U時の価格比較



参考資料

お見積りに関しては、小ロットも含め柔軟に対応させていただきます。

販売元		飛天ジャパン株式会社	A社	B社
二要素認証	USBトークン	○	○	○
	ICカード	×	×	○
Windowsセキュリティ	セキュアログオン	○	○	○
暗号化	ファイル・フォルダ暗号化	○	○	○
シングルサインオン	ブラウザ	○	○	○
PKI	電子証明書の格納	○	○	○
	PKIアプリケーションとの連携	○	○	○
対応OS	OS	7(32/64bit)/ Vista/XP/2000	XP/2000/Me/98	7/XP/2000/Me/ 98Se/98
定価価格	クライアント	6,100円 (USBトークン含む)	20,000円 (USBトークン含む)	15,000円 別途 USBトークン:4,800円
	管理ソフト	49,800円 (100クライアント以上は無償)	1,000,000円	50,000円

【クライアント/管理ソフト動作環境】

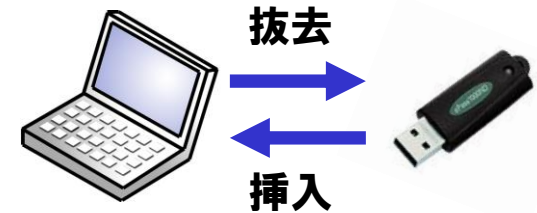
CPU	PentiumII266MHz以上を推奨
メモリ	64MB以上
ハードディスク	20MB以上の空き容量
対応OS	Windows 7 32/64bit Windows Vista 32bit SP1/SP2 Windows XP 32bit SP2/SP3 Windows 2000 Professional SP4
対応ブラウザ	Internet Explorer 6以上
その他	USBポートが1ポート空いていること

【製品構成】

クライアントソフトウェア	SecureCore Standard Edition
管理用ソフトウェア	SecureCore 管理ツール
USBトークン(別売)	ePass1000,ePass1000ND,ePass2000(当社にてSecureCore用設定後出荷)

SecureCore Personal EditionはUSBトークンでWindowsデスクトップの使用を制限するセキュリティソフトウェアです。

USBトークンを接続している間はPCを通常利用できます。USBトークンを抜き出すと、事前指定されたスクリーンロック用の動画に切り替え、マウスやキーボードの入力をブロック/制限します。



特徴

- PCロック時にスクリーンセーバ/指定した動画ファイル(Flash)を表示させることが可能です。

実績

- SecureCore Personal Editionは、ネットカフェ、学校、図書館、ホテル等共用PC端末の使用制限などに利用されています。

【クライアント動作環境】

CPU	PentiumII266MHz以上を推奨
対応OS	Windows 7 (32/64bit) 等 Server2008/Vista/XP/2K 等
対応ブラウザ	Internet Explorer 6以上
その他	USBポート 1ポート空いていること

【製品構成】

クライアントソフトウェア	SecureCore PersonalEdition
USBトークン(別売)	ePass1000ND

某大手物流運送会社様：全国各地約23,000台の業務PCの不正利用防止対策

課題

1. 個人情報を大量に保有しており、誰がPCにログインしたかを明確に管理したい。
2. 臨時従業員の入替にも容易に対応でき、システム管理者の負担を軽減したい。
3. トークンを紛失した場合でも業務への支障が最小限になるようにしたい。

解決

1. 2要素認証導入によるセキュリティレベルの向上で、個人情報の機密性を確保することができた。
2. スタンドアロンで動作するため従業員の入替にも容易に対応でき、管理コストの低減に繋がった。
3. USBトークン1本でログイン制御ができるので、利用者の利便性が向上した。

